

## 基本情報

### 指標番号

0654

### 名称

精神科入院症例のうち、抗不安薬の退院処方が単剤または2剤である割合

### 分母

主に精神疾患の治療のために入院した症例のうち、退院処方に抗不安薬が含まれる症例数

### 分子

分母のうち、退院時処方に抗不安薬の退院処方が単剤または2剤である症例数

### 指標群

精神科

### 意義

向精神薬の過量処方や過量処方による副作用に対する安全性指標（プロセス指標）診療報酬（精神科継続外来支援・指導料）において、1回の処方で3剤以上の抗不安薬を投与した場合には、所定点数の100分の20の点数が減算される。

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020,2022

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. このうち、主に精神科疾患の治療のために入院した症例 最も医療資源を投入した病名の ICD-10 コードが F\$ である症例

ICD-10 コード	病名
F\$	精神および行動の障害

3. このうち、退院処方に抗不安薬（注射薬を除く）が処方された症例。以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。退院時処方判定：2010年度～2015年度：F ファイルもしくは EF ファイルにおいて、出来高・包括フラグが「1」 2016年度～：EF-17・F-19 行為明細区分情報（12桁の数値）の1桁目「退院時処方区分」が「1」

薬価基準コード7桁	成分名	漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
1124001	エスタゾラム	エスタゾラム錠 1 m g 「アメ ル」	○	○	○	○	○	○	○
1124002	フルラゼパ ム塩酸塩	ダルメートカプセル 1 5 1 5 m g	○	○	○	○	○	○	○
1124003	ニトラゼパ ム	ニトラゼパム錠 1 0 m g 「J G」	○	○	○	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	成分名	漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
1124004	ニメタゼパム	エリミン錠3mg	○	○	○	○			
1124005	ハロキサゾラム	ソメリン細粒1%	○	○	○	○	○	○	○
1124007	トリアゾラム	トリアゾラム錠0.125mg「EMEC」	○	○	○	○	○	○	○
1124008	フルニトラゼパム	サイレース錠1mg	○	○	○	○	○	○	○
1124009	プロチゾラム	プロチゾラムM錠0.25「EMEC」0.25mg	○	○	○	○	○	○	○
1124010	ロルメタゼパム	エバミール錠1.01mg	○	○	○	○	○	○	○
1124013	オキサゾラム	セレナール散10%	○	○	○	○	○	○	○
1124014	クロキサゾラム	セパゾン散1%	○	○	○	○	○	○	○
1124015	クロラゼプ酸二カリウム	メンドンカプセル7.5mg	○	○	○	○	○	○	○
1124017	ジアゼパム	10mgセルシン錠	○	○	○	○	○	○	○
1124018		セダプランコーワ錠1010mg	○						
1124019	フルジアゼパム	エリスパン錠0.25mg	○	○	○	○	○	○	○
1124020	ブロマゼパム	セニラン細粒1%	○	○	○	○	○	○	○
1124021	メダゼパム	メダゼパム錠2(ツルハラ)2mg	○	○	○	○	○	○	○
1124022	ロラゼパム	ワイパックス錠0.50.5mg	○	○	○	○	○	○	○
1124023	アルプラゾラム	アルプラゾラム錠0.4mg「トーワ」	○	○	○	○	○	○	○
1124024	フルタゾラム	コレミナール細粒1%	○	○	○	○	○	○	○
1124025	メキサゾラム	メレックス細粒0.1%	○	○	○	○	○	○	○
1124026	トフィソパム	グランダキシン細粒10%	○	○	○	○	○	○	○
1124027	フルトプラゼパム	レスタス錠2mg	○	○	○	○	○	○	○
1124028	クロルジアゼポキシド	10mgコントロール錠	○	○	○	○	○	○	○
1124029	ロフラゼプ酸エチル	メイラックス細粒1%	○	○	○	○	○	○	○
1124030	クアゼパム	クアゼパム錠15mg「MNP」	○	○	○	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	成分名	漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
1124700	プロマゼパム	セニラン坐剤 3 m g	○	○	○	○	○	○	○
1124701	ジアゼパム	ダイアップ坐剤 10 10 m g	○	○	○	○	○	○	○
1125002	バルビタール	バルビタール「ホエイ」	○	○	○	○	○	○	○
1126002	臭化ナトリウム	臭化ナトリウム	○	○	○	○	○	○	○
1129008	タンドスピロンクエン酸塩	タンドスピロンクエン酸塩錠 5 m g 「日医工」	○	○	○	○	○	○	○
1179005	ヒドロキシジン塩酸塩	ジスロン錠 10 m g	○	○	○	○	○	○	○
1179012	クロチアゼパム	リルミン錠 5 5 m g	○	○	○	○	○	○	○
1179019	ヒドロキシジンパモ酸塩	ヒドロキシジンパモ酸塩錠 2 5 m g 「日新」	○	○	○	○	○	○	○
1179025	エチゾラム	モーズン錠 1 m g	○	○	○	○	○	○	○
2900002	ガンマオリザノール	ハイゼット錠 50 m g	○	○	○	○	○	○	○

- このうち退院先が不明、転院の症例は除外する。2010年度～2013年度 退院先「0 不明、4 転院」を除外する。2014年度以降 退院先「4 他の病院・診療所への転院」を除外する。
- 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

#### 分子の定義

- 退院時に処方された抗不安薬の薬剤種数（成分名でカウント）が2種類以下の症例 上に示された退院時処方として、退院時処方された薬剤の成分名が2種類以下

#### その他

##### 薬剤一覧の出力

いいえ

##### リスク調整因子の条件

##### 指標の算出方法

分子÷分母

##### 指標の単位

パーセント

##### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. 薬価基準コードに対する成分名は厚労省ホームページより取得  
<http://www.mhlw.go.jp/topics/2012/03/tp120305-01.html>

### 参考資料

#### 参考値

1. オーストラリア（ACHS）では平均値で 86.4 日本の処方実態調査では、2009 年データで抗不安薬 98.1%となっている。

#### 参考資料

1. Australian Council on Healthcare Standards (ACHS). Australasian Clinical Indicator Report 2003 – 2010 12th Edition Mental Health Inpatient, version 6 Clinical Indicators  
[http://www.achs.org.au/media/3871/MentalHealthInpatient\\_www.pdf](http://www.achs.org.au/media/3871/MentalHealthInpatient_www.pdf)（2013年1月4日アクセス可能）
2. 三島和夫,片寄泰子,榎本みのり,他.診療報酬データを用いた向精神薬処方に関する実態調査研究.平成22年度厚生労働省科学研究費補助金 特別研究事業 向精神病薬の処方実態に関する国内外の比較研究分担研究方向書.2010年. <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001tjq1.html>（2013年1月4日アクセス可能）
3. 厚生労働省.過量服薬への取り組み-薬物治療のみに頼らない診療体制の構築に向けて 2010年 [www.mhlw.go.jp/bunya/shougaihoken/jisatsu/dl/torimatome\\_5.pdf](http://www.mhlw.go.jp/bunya/shougaihoken/jisatsu/dl/torimatome_5.pdf)（2013年1月4日アクセス可能）
4. 薬剤の分類について下記参照（改訂に際しては、同著者、日本精神神経学会/日本精神神経薬理学会による最新情報を随時参照のこと） Toshiya Inada et al. Psychotropic dose equivalence in Japan. *Psychiatry Clin Neurosci.* 2015; 69(8):440-7. Doi: 10.1111/pcn.12275.